

2月号では嬉野整理所でおこなわれている土器、石器を元の形に近づける作業(復元)までを紹介しました。今月号では、その後におこなう遺物を実際に測り、図面に描き表す作業(実測)について説明します。

【遺物(土器、石器など)の実測について】

発掘調査で出土した遺物(土器や石器など)を正確に測り、図面に描き表し、記録に残します。そして、その情報を共有するための報告書に掲載をします。

「写真でもよいのでは・・・。」と、みなさんは思うかもしれませんが、たしかに、写真は遺物の形を見たまに写すことができるのですが、遺物の微妙な角度や大きさ、光の加減で写りにくかった所などの情報を十分に伝えることができません。そのため、専門の職員は、遺物を細かく観察し、方眼紙に遺物から読み取ったことを図や言葉で記録していきます。例えば、「土器」の場合だと「色やどんな土を使っているのか。どんな作り方なのか。」などです。

①三角定規、キャリパー、ディバイダー、マコ(真弧)など専門の道具を使って実測します。

※キャリパー・・・遺物の厚みを測る道具 ディバイダー・・・遺物の長さを測る道具

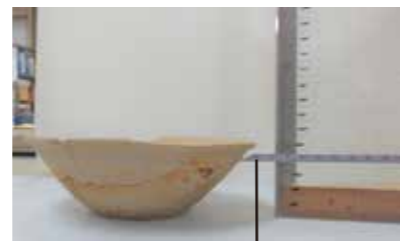
マコ(真弧)・・・遺物の形を測る道具



遺物の直径を測っています。



遺物の高さを測っています。



測定の基準になる定規から遺物までの距離を測っています。



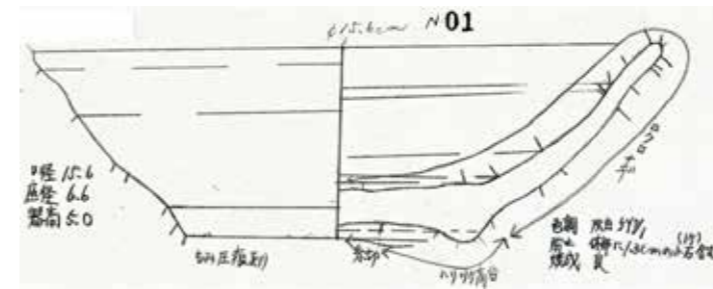
マコで土器の輪郭をとっています。



キャリパーを使い、遺物の厚みを測っています。



ディバイダーで、図面に表したい長さを測っています。



実測図

経験を積んだ職員が描く実測図は、専門的な知識を持った人が、実物を見なくても必要な情報を読み取ることができるものになります。

その後、この実測図をもとにして、報告書に載せる図面を作成していきます。

はにわ館の図書コーナーに置かれている「発掘調査報告書」を是非手に取って、遺物の図面をご覧ください。(担当)

【3月 啓蟄】

万葉集に志貴皇子が詠んだ「石走る 垂水の上の さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも」という一首があります。春の到来を告げる美しい歌です。

文化財センターにはにわ館では、冬季企画展「赤く彩られた土器」を開催中です。嬉野中川町の「貝蔵遺跡」や下村町の「神戸遺跡」、殿村町の「蛸遺跡」など、みなさんの近くの地域から出土した赤い土器が展示されています。

また、第1ギャラリーでは、令和元年度ギャラリー企画展「野口已織子回顧展」を3月13日から22日まで開催します。詳しくは裏面をご覧ください。

春の息吹を感じる鈴の森公園を通り、文化財センターに是非、お越しください。(所長)



文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

3月の休館日は、2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
開館時間は9:00~17:00です。

【はにわ館】 入館料 110円 (18歳以下無料) *入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
第2展示室 ■冬季企画展「赤く彩られた土器」 3/15(日)まで
★3/15は、はにわ館開館記念のため『入館無料』!

【ギャラリー】 入場無料

第2・3G	■南勢地区高等学校美術展2020	3/8(日)~3/15(日)	9:00~17:00	※最終日は15:00まで
第1G	■野口已織子 回顧展	3/13(金)~3/22(日)	9:00~17:00	
第1G	■華道家元池坊松阪支部 花展	3/28(土)~3/29(日)	10:00~17:00	※最終日は15:30まで

【イベント】

文化財センター内 ★ポイントラリー 3/14(土)~15(日) 9:00~16:00



バーコード読み取り
(文化財センター情報)